

事業番号	13
------	----

平成30年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	八雲町児童交流事業						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計						担当課	教育総務課		
	事業期間	平成12年度以前		～	平成31年度以降		担当係	庶務係			
	基本施策・展開方向	3	教育・子育て		12	学校教育		3	教育力を向上し、調和のとれた人格形成を支援します		
	予算区分	款	10	項	1	目	3	大	10	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的	何・誰を対象に	市内小学校5・6年生								
		どの様な状態にするのか	八雲町児童との交流により、お互いのふるさとを学び、共に理解を深め、「心と心を結ぶ永遠の友情」を育みながら、小牧市の将来的展望に立った次代を担う大人への成長を促す。								
		内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>○平成29年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季事業では小牧市児童24名を八雲町へ派遣し、冬季事業では八雲町児童12名を小牧市に受け入れた。 ・夏季(往路フェリー、復路飛行機利用)5泊6日、冬季3泊4日の日程で、各種体験や見学行事、交流会、家庭交流、集団宿泊等を行った。 ・夏季、冬季とも事前、事後の学習会を行った。 <p>(平成29年度直接経費の内訳)</p> <p>八雲町児童交流事業委託料 2,602千円 (一般財源以外の財源)</p> <p>八雲町児童交流参加者負担金 662千円</p> <p>○平成30年度実施内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的には29年度と同様であるが、主な変更点として夏季事業の往路交通手段をフェリーから飛行機に変更する。(夏季、冬季とも3泊4日の日程とする。) <p>(平成30年度直接経費の内訳)</p> <p>八雲町児童交流事業委託料 4,382千円 (一般財源以外の財源)</p> <p>八雲町児童交流参加者負担金 844千円</p>								
		受益者負担	有	八雲町児童交流参加者負担金 844,000円							

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29決算額	H30予算額		
事業費	費用	直接経費	千円	3,101	2,836	2,826	2,602	4,382	
		正職員	従事者数	人	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
			人件費	千円	2,620	2,620	2,620	2,620	2,620
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		人件費	千円	0	0	0	0	0	
	費用合計		千円	5,721	5,456	5,446	5,222	7,002	
	対前年比		%	—	95.3	99.8	95.8	134.0	
財源	一般財源	千円	2,218	2,174	2,141	1,940	3,538		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0	0		
	その他財源	千円	883	662	685	662	844		

業	成果指標名	単位	H26	H27	H28	H29	H30
	本市の参加児童数	人	目標	32	24	24	24
実績			32	24	24	24	
		目標					
		実績					
績	活動指標名	単位	H26	H27	H28	H29	H30
	事前(後)学習会	日	目標	12	10	10	10
実績			12	10	10	10	
		目標					
		実績					

事業の 評価	平成29年度	事業の達成状況	H28年度に男子児童の応募が少なく、男子児童のみ二次募集を行い、男子11名、女子13名の合計24名で実施したが、H29年度は活動状況がより良く伝わるようチラシの掲載写真を変える等の改善を加えたこともあり、男女各12名で開催することができた。					
	平成29年度	事業実施における課題	S58年から始まった本事業は、H29年度で35回目を迎える。歴史ある事業を継続していくため、予算、派遣者の数、事業の内容など八雲町と協議を行い、検討する必要がある。					
	平成30年度	30年度における実施内容や結果見込み	H29年度に続き、男女各12名で実施できる見込みである。往路交通手段をフェリーから飛行機に変更することで、より参加しやすくする。					
	平成31年度以降	事業の方向性	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
		削減額・削減対象	事務事業評価による額	390	千円	予算区分	13	節
平成31年度以降	判定理由・削減内容	これまでの実施結果をもとに、交流事業内での移動交通手段を見直し、事業費を削減しても、今後もこれまで同様の成果が見込めると判断した。						
平成31年度以降	31年度以降の実施内容	本事業は、夏季と冬季の長期間にわたることもあり、参加児童の成長を促す上で大きな効果が期待できるため今後も継続実施していく。ただし、交流事業であるため、八雲町側の事情を踏まえ、八雲町と協議しつつ開催可能な事業内容とする必要があると考える。						